

所有物品の保管及び管理等業務

仕様書

2022年9月

原子力発電環境整備機構

1. 件名
所有物品の保管及び管理等業務
2. 業務目的・概要
 - 2.1 業務目的
本業務の目的は原子力発電環境整備機構（以下、「機構」という）技術部が所有する物品を適切に管理・保全されている倉庫において保管し、それらを一元管理することにより将来の技術開発業務に効率的に活用可能な状態を維持することである。
 - 2.2 業務概要
本業務は倉庫にて機構技術部所有の物品の保管業務を行うこと、保管物品の管理業務を行うこと、それらに伴う入出庫作業等の付帯業務を行うことからなる。なお、保管物品は放射性廃棄物等を含まず、一般的保管・管理が可能な物品のみからなる。
3. 一般事項
 - 3.1 一般
本仕様書は、機構が委託する標記業務の実施に際し、受注者の責任において履行しなければならない事項を規定するものである。
本仕様書に明記されていない事項については、原則として本業務に適用となる最新の法律・法令・規則・条例・基準・指針等に従う。
 - 3.2 受注者の責務
 - (1) 機構要求事項
受注者は本仕様書に示す機構の要求事項を確実に実施するとともに、実施内容、結果及び報告内容について責任を負わなければならない。
 - (2) 法令遵守
受注者は倉庫業法、労働安全衛生法その他本業務に関連する法律・法令・規則・条例・基準・指針等を遵守し、災害・事故の発生防止につとめ、業務の円滑な進捗に努めるとともに、必要な諸手続き（許可、届出等）は、受注者の責任において遅滞なく処理する。
 - (3) 遵守事項・禁止事項
受注者は当該委託業務の範囲に関わらず、事業活動において機構の経営理念に反する行為により、機構の社会的信頼性を低下させてはならない。
 - (4) 再委託の原則禁止
受注者は本業務の遂行にあたり、業務を再委託することはできない。ただし、やむを得ず再委託する場合、機構の定めに従い申請し、申請が承認された場合のみ業務の一部を再委託することができる。受注者は再委託先に対して法律・法令・規則・条例・基準・指針及び本仕様書に定める遵守事項・禁止事項等の遵守に関する指導義務がある。
 - 3.3 秘密情報に関する事項
 - (1) 秘密情報の範囲
本仕様書及び業務に関して機構が提供する全ての情報（図面及び電子データ等を含む）及び本業務において作成される全ての情報（図面及び電子データ等

を含む)。

(2) 秘密情報の取扱い

受注者は本業務期間中及び業務終了後も、業務に関して得られた秘密情報を他に漏らしてはならない。また、本業務によって得られた秘密情報は、本件業務の遂行以外の目的に一切使用しない。

秘密情報の取扱いについて下記を参考に、情報管理の徹底を図る。

- ・ 業務用と私用のパソコン等を使い分け、私用パソコン等での秘密情報の取扱いの禁止。
- ・ 業務用パソコン等へのウィルス対策ソフトの導入と更新。
- ・ 業務用パソコン等へのファイル共有ソフトの導入の禁止。
- ・ 業務ごとのパスワードの設定、外部記憶媒体の施錠保管等により、第三者への秘密情報流出の防止。
- ・ 「3.4 品質保証 (4) 及び(5)」に基づく情報セキュリティの確保 (情報・データのバックアップ実施、漏洩・消失保護の実施及び従事者への教育の実施など)。

3.4 品質保証

- (1) 受注者は、ISO9001 : 2015 (JIS Q 9001:2015) に基づくもしくは準拠する品質マネジメントシステムを運用しなければならない。
- (2) 受注者は意図しない結果が業務成果に反映されないよう品質確認を行う。機構の求めに応じて、受注者が運用する品質マネジメントシステムに則り実施した品質確認結果の記録の写しを機構に提出する。
- (3) 機構が必要と認める場合は、機構が品質マネジメントシステムの運用状況の検証を行うことがあるため受注者は協力する。
- (4) 受注者は運用する品質マネジメントシステムに則り、適切なインフラストラクチャ及び環境を使用する。
- (5) 受注者は運用する品質マネジメントシステムに則り、機構または外部提供者の所有物を管理する。

3.5 提出書類等

表－1 提出書類等一覧表^{注1)}

提出書類等	提出時期	宛先	種別	提出部数	備考
実施責任者届	契約後直ちに	機構 技術部長	提出	1部	業務経歴書添付
緊急連絡体制表	当該作業開始前	機構 技術部長	承認	1部	
議事録	打合せ後速やかに	機構 GM	承認	2部	参考様式－1 押印記名後、日付を入れてPDF化し、メールでの提出を可とする
協議書	必要の都度	機構 技術部長	承認	2部	参考様式－2
災害・不適合事象等速報 ^{注2)}	発生の都度直ちに	機構 技術部長	提出	1部	安全品質、業務品質の確保が困難な事象が発生した場合に提出する。 事象の内容、事象の範囲、影響の大きさ(業務停止の有無含む)、応急処置、業務再開条件などを記載
品質管理記録の写し	別途指示	機構 GM	提出	1部	3.4品質保証及び特記事項で定めるもの

注1) 契約書に定められた提出書類は別途提出する。

注2) 事象発生時にすべての要件を把握できない場合は速報性確保を優先する。

3.6 個人情報の保護

- (1) 提出書類内に含まれる個人情報は、当業務の管理以外の目的には使用してはならない。
- (2) 機構職員に関する個人情報（緊急連絡体制表等）については本業務以外に使用してはならない。
- (3) 受注者が機構へ報告する個人情報（従事者名簿等）については、事前に本人から第三者提供について同意を確認しておく。

なお、個人情報とは、個人に関する情報、特定の個人を識別できる情報のことを言う。具体的には以下のようなものを言い、全員から同意を確認しておく。

- ・ 氏名（珍しい名字の場合は、そのみでも個人情報となる）
- ・ 所属名、役職名、住所等と併記された名字
- ・ メールアドレス等（氏名や会社名がアドレスに含まれていなくても、個人を特定できる場合は個人情報にあたる）。

3.7 届出を必要とする職員の選任

実施責任者は経歴書を含めた届出書を提出し、機構の確認を得なければならない。機構がその職員を不適格と認めた場合は直ちに交代させなければならない。

3.8 業務期間中の不適合

業務期間中に不適合が発見された時は、受注者が運用する是正処置システムに則り、受注者の負担で修正しなければならない。ただし、その対策については、事前に機構の承認を受けなければならない。

3.9 廃棄物対策

受注者は、廃棄物の発生抑制に努めるとともに、作業で発生する廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。

産業廃棄物に当たっては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設副産物適正処理推進要綱」並びに都道府県条例等の関係法規を遵守する。

4. 業務の内容

4.1 実施場所：受注者にて適切な実施施設を準備して使用する。

4.2 実施期間：2022年10月17日～2023年3月31日

4.3 業務等の項目

- (1) 保管場所の提供及び保管・管理業務の実施
- (2) 入出庫作業の実施
- (3) その他に満たすべき要件

4.4 業務の内容（要求事項）

- (1) 保管場所の提供及び保管・管理業務の実施

- 別表の保管物品を管理できる広さで風雨に晒されない屋内保管場所であること。
 - 保管場所建屋が国土交通大臣の許可を受けた倉庫業者が営業に使用する倉庫であり、新耐震設計基準を満たすこと。
 - 常温保管できること。ただし、摂氏0度未満とならない（凍結しない）こと。
 - 保管場所に防犯設備があること。
 - 浸水災害の影響を受けない保管場所であること。
 - 人の出入りが管理された保管場所であること。
 - 東京都港区芝4丁目1-23から公共交通機関で日帰り可能圏内にあること。
 - 資機材の保管・管理作業（品数管理、倉庫内配置管理を含む）を行うこと
 - 員数管理作業（管理システム利用を含む）を行うこと。員数管理作業は在庫の棚卸として少なくとも毎月1回、月末に実施すること。
 - 在庫管理作業（保管物品の出し入れに伴う物品管理を含む）を保管物品の入庫・出庫ごとに行うこと。
 - 受注者が提供する倉庫までの物品の輸送及び同倉庫からの輸送については、機構が別途調達するものとし、入庫作業から出庫作業までを本業務の範囲内とする。
 - 保管物品の固縛や固定等の転がり・転倒・落下対策を行うこと。
 - 保管物品の確認等の作業を実施可能で電源の利用が可能な屋内もしくは屋根のある場所かつ作業に必要な照明設備のある場所を機構の要望に応じて提供すること。
- (2) 入出庫作業の実施
- 入庫作業（入庫情報受付、入庫作業に関する現場への指示、保管場所の準備、車両からの荷下ろし（荷役作業）、物品の外観・数量の確認、保管のための積み替え、保管場所への格納作業、保管物品の管理表等を用いた入庫報告）を行うこと。
 - 出庫作業（出庫情報受付、出庫作業に関する現場への指示、物品の棚出し、現品照合、荷積み・輸送にあたっての積替え、車両への積込み（荷役作業）、引渡書類等の作成、保管物品の管理表等を用いた出庫報告）を行うこと。
 - 別表の全物品について、倉庫への最初の入庫及び契約終了時の最後の出庫に関する作業を行うこと。
 - ネステナやパレット等の保管用資材を保管場所での保管に必要な数量提供すること。
 - 入庫に際しては、機構の要望に応じてパレット等を事前に貸し出すこと。
- (3) その他に満たすべき要件
- 受注者は(1)及び(2)の定めの有無に関わらず、倉庫における火災の防止その他倉庫の施設の適切な管理の実施、倉庫管理業務の適正な運営の確保及び労働災害の防止に努めなければならない。
 - 受注者はフォークリフトの取扱い、重量物の人力取扱い、クレーン作業、はい作業などに関連する災害発生を防止するため及び万が一災害が発生した場合の影響が最小限にするために労働安全衛生法その他関係法令を遵守し、受注者の責任において必要な諸手続き（許可、届出等）を遅滞なく処理すること。

5. 検収条件

- 5.1 必要書類の提出期限：毎月月末までに提出
- 5.2 必要書類の内容
受注者は、検収のための必要書類として以下を期限内に提出しなければならない。
- (1) 月次管理結果報告書
1. 在庫の棚卸として毎月末実施する員数管理作業結果に基づき月次管理結果報告書を作成する。
 2. 作成した報告書については原本 1 部または電子媒体 1 部を提出する。
- 5.3 検収及び補修・保証
- (1) 受注者は、検収に先だって検収方法（検査基準，提出方法等）について機構技術部と打合せ、円滑な手続きに努めるものとする。
 - (2) 検査の結果、提出された必要書類に欠陥が発見された時は、受注者の負担で補修しなければならない。ただし、その対策については、事前に機構の承認を受けなければならない。
6. 委託者側実施責任者
原子力発電環境整備機構 技術部長 渡部隆俊
〔担当箇所：技術部 技術企画グループ〕
7. 特記事項
- (1) 受注者は、本仕様書に記載されている事項について疑義が生じた場合には、機構に協議書を提出のうえ、機構と協議し、その決定に従うものとする。
 - (2) 受注者は、機構との協議等においては議事録、協議書を作成し、その内容について機構の承認を得る。
 - (3) 機構が所有する資料で、本業務に必要なものは随時提供する。ただし、受注者は「3.3 秘密情報に関する事項」を遵守しなければならない。

以上

議事録

機構技術部					受注者					作成年月日
				担当					担当	
										年 月 日
件名					作成者					
日時	年 月 日 () : ~ :				場所					
出席者					添付資料					
議事内容										懸案事項処理
										処理箇所
【決定事項】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 決定事項、その対策 がわかるように記載する。 </div>										
【内容】										

受注者は、作成、押印し電子化したものを、メール等にて機構に送付し、機構の確認を得ることを可とする。
 機構はメールにて受領したものを印刷し確認押印したものをメール等にて受注者に送付する

別表 保管物品リスト

物品 No.	物品名	内容	個数	単位	保険用価額 (円)	大きさ(1個あたり)	保管スペースの目安	重さ	重さ等 備考	荷姿(搬入時)	設置用の用具・養生 (例)	入庫予定時期
1	神流川コア試料	岩石コア試料(木箱入り)	26	箱	89,484,755	1060mm×230mm×120mm	約1m×1m(4箱×4段) 約2m×2m(全部)	40kg程度 /箱	4列×4段程度でパレットに積むことを想定	木製コア箱:梱包なし 2パレット	不要	2022年10月
2	ボーリング孔閉塞用のダンブペイラの試作機	試験装置(鋼管類)	1	台	6,895,405	8000mm(長さ)×3000mm(幅)×500mm(高さ)	約8m×3m(平置き)	総重量0.5~1t		長尺鋼管:梱包なし10本 その他資材:木箱入り1パレット	転がり止め	2022年10月
3	モニタリング装置(パッカー、パイプ類、光ファイバケーブルなど)	試験装置(鋼管類、光ファイバケーブルなど)	1	式	10,000,000	3000mm(長さ)×3000mm(幅)×500mm	約3m×3m(平置き)	総重量0.5~1t		梱包なし 鋼管10本程度 その他資材4パレット程度	転がり止め	2022年10月
4	MPブローブ	試験装置(鋼管)	1	式	71,469,664	1000mm×500mm×500mm×2段	ラック2棚分程度	計100kg程度		段ボール及びプラスチックケース:梱包なし	不要	2022年10月
5	調査用資機材類	防寒着・胴付き長靴等(段ボール入り)	8	個	1,000,000	500mm×600mm×450mm	ラック3棚分程度(パレット2枚分程度)	計100kg程度	段ボール及びプラスチックケース計8個程度	段ボール及びプラスチックケース:梱包なし	不要	2022年10月
6	横須賀コア試料	岩石コア試料(木箱入り)	約730	箱	1,512,800,340	1060mm×230mm×120mm	物置3棟分	40kg程度 /箱	4列×4段程度でパレットに積むことを想定	木製コア箱:梱包なし 46パレット	不要	2022年10月
7	電炉材板巻鋼管	鋼管	1	巻	1,045,000	550mm×550mm×2850mm	5m×5m(平置き) 3000×4350mm(小間隔) 1500×4350mm(平積み)	約9,623kg (総重量)	1597kg(最重)	梱包なし	特になし	2023年3月
8	高炉材/電炉材鋼板	鋼板	8	枚	420,000	250mm×4350mm×45mm			384kg/枚	梱包なし	特になし	2023年3月
9	高炉材ブロック	鋼材ブロック	3	パレット	1,385,534	1100mm×1100mm×1000mm			500kg/パレット	パレット	特になし	2023年3月
10	電炉材ブロック	鋼材ブロック	3	パレット	1,311,091	1100mm×1100mm×1000mm			500kg/パレット	パレット	特になし	2023年3月
11	溶接試験体	鋼材	1	体	29,045,269	550mm×550mm×300mm			158kg	パレット	特になし	2023年3月
12	ねじ込み試験体	鋼材	3	体	14,960,000	550mm×550mm×300mm			158kg	パレット	特になし	2023年3月
13	NWMO溶接試験体	鋼材	2	体	3,006,149	550mm×550mm×300mm			158kg	木箱	特になし	2022年12月
14	コールドスプレー試験体	鋼材	2	体	5,611,175	556mm×556mm×300mm			181kg	木箱	特になし	2022年12月
15	電気メッキ試験体	鋼材	1	体	3,212,710	556mm×556mm×475mm			294kg	木箱	特になし	2022年12月
16	ベントナイト材料	粘土材(粉体)	2	袋	180,000	1000mm×1000mm×1000mm	1m×2m(1トンフレコンパック×2個)	約2t	-	フレコンパック	特になし	2023年3月
17	銅クラッド鋼管	鋼管	3	パレット	10,939,000	1100mm×1100mm×1000mm	5m×5m(平置き)	未定	-	3パレット	特になし	2022年10月
18	鋳鋼試験ブロック	鋼材	3	パレット	3,000,000	1100mm×1100mm×1000mm		未定	-	パレット	特になし	2022年10月
19	FSW試験後平板	鋼材	1	パレット	10,278,920	1100mm×1100mm×1000mm		未定	-	ケース	特になし	2023年3月